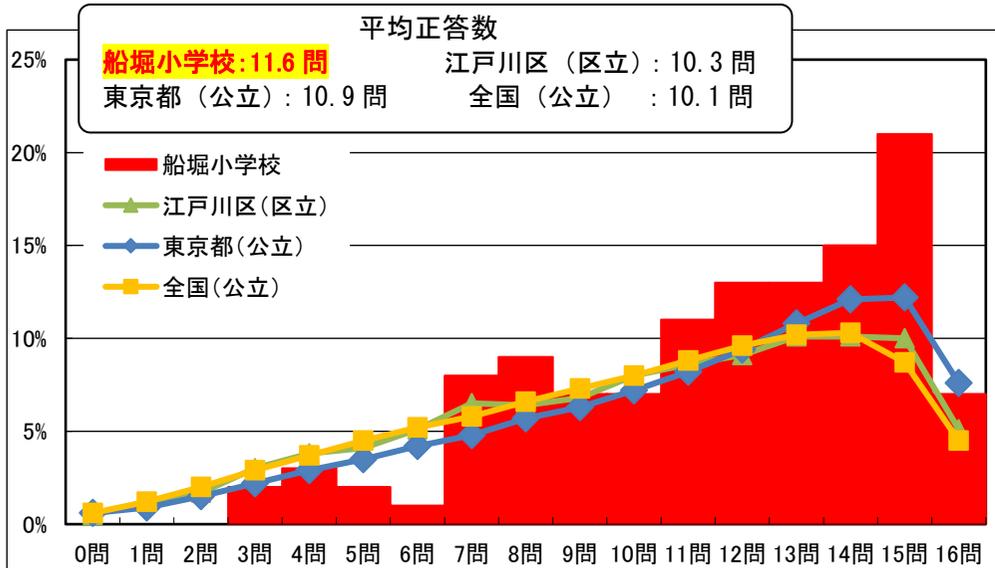


令和6年度 全国学力・学習状況調査結果と改善に向けて【算数】 船堀小学校

正答数分布



<四分位における割合(都全体の四分位による)>

算数	上位 ← → 下位			
	A層 14~16問	B層 12~13問	C層 8~11問	D層 0~7問
船堀小学校	36.1	21.8	28.6	13.4
江戸川区(区立)	25.2	19.2	29.8	25.8
東京都(公立)	31.9	20.2	27.4	20.5
全国(公立)	23.5	19.8	30.7	26.0

【平均正答率の差】

船堀小学校	72%
江戸川区(区立)	64%
東京都(公立)	68%
全国(公立)	63.4%
都との差	4ポイント

【分析結果と授業改善に向けて】

○本調査において、東京都及び全国の正答率より下回った解答は、分速何mを求める設問、直径10cmの円周を求める設問であり、16問中2問であった。また、立方体の体積を求める設問の正答率が50.4%となり、円周を求める設問と共に図形領域に課題があることが分かる。なお、分布からは誤答の80%以上がCD層であり、CD層に向けた対応が必要であることが分かる。

○「速さ」においては、単位時間あたりに移動する長さや捉えたり、一定の長さを移動するのにかかる時間として捉えたりするなど、目的に応じた処理の仕方について考えることができるようにする。また、「図形」においては、多角的に図形を観察したり作図したり、自分の考えや理解したことを説明したりする学習に重点を置く。

また、1単位時間ごとに十分に適用問題の時間を確保し、学習内容の定着を図る。

四分位とは、データを値の大きさの順に並べたとき、児童数の1/4、2/4、3/4にあたるデータが含まれているのはどの集合かを示すものである。下の表では、四分位によって児童をA、B、C、D層に分けた時のそれぞれの層の児童の割合を示している。なお、本データで示している四分位は、東京都(公立)のデータを基に定めている。